

平成21年度 神戸大学技術職員研修(集合研修)日程表

平成21年9月～平成22年3月

総合テーマ:「自然と環境」

◆全体研修	9:00～ 9:20	9:20～ 9:35	9:35～ 10:00		10:10～ 11:10		11:20～ 12:20		13:20～ 14:00		14:10～ 15:50		16:00～ 17:10	
9月8日(火) 瀬川記念学術交流 会館・大会議室(2F)	受付	開講式 事務連絡	「講話」 学長	会場 準備	「講義1」 『場害問題への 地盤解析技術の応用』 都市安・教授 飯塚 敦 (工)	会場 準備	「講義2」 『熱帯林消失と日本』 農学研究科・教授 伊藤 一幸 (農)	休憩	「業務・技術報告」 工学(1名) 医学(1名) (*1)	会場 準備	「グループ討議」 パート1 『運携』 (*2)	休憩	「グループ討議」 パート2 『研修』 (*3)	事務 連絡

*1) (工)前田浩之「水工学系研究室の業務について」、(医)平山信恵「医学研究科の新しい動物実験施設の紹介」

*2) グループリーダー:(工)義澤康男、吉田秀樹/(海)井川晶裕/(農)富士松雅樹/(医)薛 富義

*3) グループリーダー:(工)大西和夫、古宇田由夫/(海)油木代一/(理)安積和子/(医)中川 加奈子

◆分野別研修 (対象技術職員数=72名)	
9月3日(木)	①工学分野『世界最小のPICマイコンと圧電プザーでメロディを鳴らす』(講師:伊地知武吉、菊田 望) (工学研究科)
9月4日(金)	②工学分野【施設見学】『自然と環境について』「人と自然の博物館」、「有馬富士公園」(担当:福井喜一郎) (工学研究科)
9月9日(水)	③医学分野『医学研究科におけるネットワーク技術とネットワーク構築実習～KHAN2009に学ぶ』(講師:水野直樹) (医学研究科)
9月10日(木)	④医学分野【施設見学】『ライフサイエンスの先端とより安全な研究環境を学ぶ』 奈良先端科学技術大学院大学、大阪産業衛生技術館(担当:薛 富義) (医学研究科)
9月14日(月)	⑤工学分野『板金工作』(講師:義澤康男) (工学研究科)
9月14日(月)、 15日(火)	⑥海学分野『造船技術』 1日目:<午前>講義1「回流水槽の活用」(講師:内田 誠 教授)、講義2「模型実験のちから」(講師:西尾 茂 教授) <午後>実習「フロベラ単独性能試験」(講師:鈴木俊晴、野崎伸夫、原野 互、油木 代一) 2日目:【施設見学】三菱重工神戸造船所(担当:鈴木俊晴、野崎伸夫)、明石船型研究所(担当:原野 互、油木 代一)
9月15日(火)	⑦工学分野『作業環境測定』(講師:講義/古宇田由夫、実習/曾谷知弘、熊谷宜久) (工学研究科)
9月16日(火)	⑧理学分野『身のまわりの水について』(講師:梶並昭彦 准教授、実習/吉村徳夫) (環境管理センター)
11月中旬	⑨農学分野【施設見学】『農業機械工場と岡山大学附属農場見学』セイレイ工業岡山本社、岡山大学附属農場(担当:橋爪浩和) (農学研究科)
11月中旬	⑩農学分野【施設見学】『剪定くずの有効利用』京都府農林水産技術センター丹後農業研究所(担当:片山寛則 講師、寛 重文) (農学研究科)
11月29日(日)	⑪農学分野【施設見学】『メス牛の飼養環境と肥育技術』松坂農業公園ベルファーム(担当:本多 健 助教、久下志朗) (農学研究科)
平成22年2月下旬 ～3月上旬の1日	⑫農学分野『未定』 (農学研究科)

※丸に数字はコース番号。技術職員は、職名を省略しています。

(注) 1) 全体研修の受講は必修とします。 2) 分野別研修は各コースから2日分を選択とします。 3) 基本的に全学オープン化とします。 4) 閉講式は行いません。

平成21年度 神戸大学技術職員研修 集合研修・分野別研修各コース内容概要

コース番号 (日程)	(分野)『テーマ』 集合場所/実施場所(受講者定員)	内容概要【担当講師】
① (9/3)	(工)『世界最小のPICマイコンと圧電プザーで メロディを鳴らす』 工学研究科 情報知能実験室(D2-302)/同左 (10名程度)	世界最小のワンチップマイコンPIC12F675を利用して、プログラムによりボートの周波数をコントロールし、ドレミファソラシドを作り、任意の曲をプログラムして、電子オルゴールを作ります。午前中回路製作、午後は好みの曲を入力します。 【伊地知武吉 技術専門職員、菊田 望 技術専門職員】
② (9/4)	(工)『自然と環境について』 工学部五広間/施設等 (25名)	『施設見学』人と自然の博物館、『有馬富士公園』。わが国有数の自然・環境系博物館である「人と自然の博物館」は、人と自然の共生の環を拡大する活動を行っており、自然環境に関する情報が体系的に集約され、様々な用途へと活用されている。情報そのものにつれ、またその収集・蓄積あるいは公開、提供の技術などについて学びたい。また、同博物館が運営・計画に参画する広域都市公園である「有馬富士公園」においては、豊かな自然環境と一体となった市民参画型の県立公園づくりの現場を見学する。 【福井善一郎 技術専門職員】
③ (9/9)	(医)『医学研究科におけるネットワーク技術と ネットワーク構築実習～KHAN2009に学ぶ』 医学研究科情報センター/同左 (15名程度)	今年度8月ぶりに学内情報ネットワークKHANがバージョンアップされる。そこで、KHAN2009の概要およびそこで用いられている最新のネットワーク技術について概説するとともに、医学教育・研究にどのように活用されているのかを学ぶ。さらに、センターの実機を用いたネットワーク構築実習を行い、情報通信の仕組みを理解する。【木野直樹 技術職員】
④ (9/10)	(医)『ライフサイエンスの先端と より安全な研究環境を学ぶ』 阪神三宮駅北15集合/施設等 (15名程度)	『施設見学』奈良先端科学技術大学院大学(生駒市)、大阪産業衛生技術館(大阪市)。ライフサイエンスの先進的な研究内容を学ぶため、奈良先端科学技術大学院大学の研究室を訪問し、実際の研究内容・実験技術・研究環境を肌で感じ取る。また、日頃より従事する実験室の安全衛生を学ぶため、産業安全技術を展示する「わが国唯一の施設である産業衛生技術館を初め、安全技術の実物に接する。(補足)厚労省OBIによる2-30分程度の講義を受けることができます。特に医学的で数用ホルムアルデヒドなどの特定化学物質・有機溶媒等に関する安全衛生についてフォーカスした内容をリクエストします。【藤 富義 技術専門職員】
⑤ (9/14)	(工)『板金工作』 工学研究科 工作技術センター/同左 (10名程度)	板金と呼ばれる手作業による製品作りをとらえて、生活の中に見える自然を振り返ってみませんか?【義澤康男 技術専門職員】
⑥ (9/14,15)	(海)『造船技術』 1日目:総合学術交流棟1階SC室/同左 2日目:海事科学研究科主門/各施設等 (14名、内9名海事予定)	テーマ「造船技術」に沿って、1日目の午前中12時の関連する講義を受講し、午後に「プロペラ車速性能試験」実習を行う。また、2日目は三菱重工(和田野)および明石船型研究所(西明石)の施設見学を行う。講義及び施設見学はセットとし、講義だけまたは施設見学だけの受講は、原則として認めない。 【講義:内田 誠 教授、西尾 茂 教授 施設見学:鈴木徳雄 技術専門職員、野崎伸夫 技術専門職員、原野 亘 技術専門職員、油木 代一 技術専門職員】
⑦ (9/15)	(工)『作業環境測定』 工学研究科 創造工学スタジオ2(C3-101)/同左 (7名)	人体に有害な物質を取り扱う作業場(実験室)においては、作業環境における有害因子のレベルを定期的に測定し実態を把握し、改善を促す体制が必要である。これを作業環境測定と呼び法令で規定されている。本研修では以下の講義と実習を通じて、作業環境測定についての基礎を習得する。(1)作業環境測定業務の概要なら(2)他大学での実施状況について(3)検知管を使った簡易測定による作業環境の評価(3)ガスクロマトグラフィーによる分析について 【講義:吉田由志 技術専門職員、実習:曾谷知弘 技術専門職員、熊谷宜久 技術
⑧ (9/16)	(理)『身のまわりの水について』 環境管理センター/同左 (10名程度)	神戸大学の生活排水、実験排水、雨水はどういう経路で流れているのだろうか?実験廃液はどのように処理されているのか?ささいなことだけれどよくわからずに日々暮らしていることと思います。排水に関する様々な問題点を指摘して、皆様と一緒に考えて行きたいと思えます。午後からは簡易分析法と原子吸光測定法を使った実習を行います。 【講義:梶並昭彦 准教授、実習:吉村龍志 技術職員】
⑨ (11月中旬)	(農)/作物系『農業機械工場と岡山大学附属農場見学』 JR岡山駅東口/施設等 (7名、内4名農学予定)	『施設見学』セイレイ工業岡山本社、岡山大学農学部附属岡山福園フィールド科学センター岡山農場。農業機械の先端技術を見学し、作業技術の向上に役立てる。また、岡山大学附属農場を見学し技術交流を図る。【橋川浩和 技術専門職員】
⑩ (11月中旬)	(農)/果樹系『剪定くずの有効利用』 JR福知山駅北口/施設等 (7名、内5名農学予定)	『施設見学』京都府農林水産技術センター丹後農業研究所。剪定くずの有効利用を研究、調査している機関を見学し、方法や問題点などについて意見交換をして業務に役立てる。【片山寛則 講師、笠 重文 技術専門職員】
⑪ (11/29)	(農)/畜産系『メス牛の飼養環境と肥育技術』 JR松原駅南口/施設等 (7名、内5名農学予定)	『施設見学』松坂農業公園ベルファーム。兵庫県産肉用メス牛の肥育を多く行っている松坂地方の共進会を見学し、肥育技術の向上を図る。【本多 健 助教、久下志朗 技術専門職員】
⑫	(農)/『未定』 食育館センター2F教室/同左	未定(22年2月下旬～3月上旬の1日)

※(分野)工:工学分野、農:農学分野、医:医学分野、海:海事分野、理:理学分野 ※担当講師の下線は、複数の担当講師がいるコースでの担当代表者を示す。